

月次報告書（2007年5月分）

フィッシング情報届出状況

2007年6月20日

目次

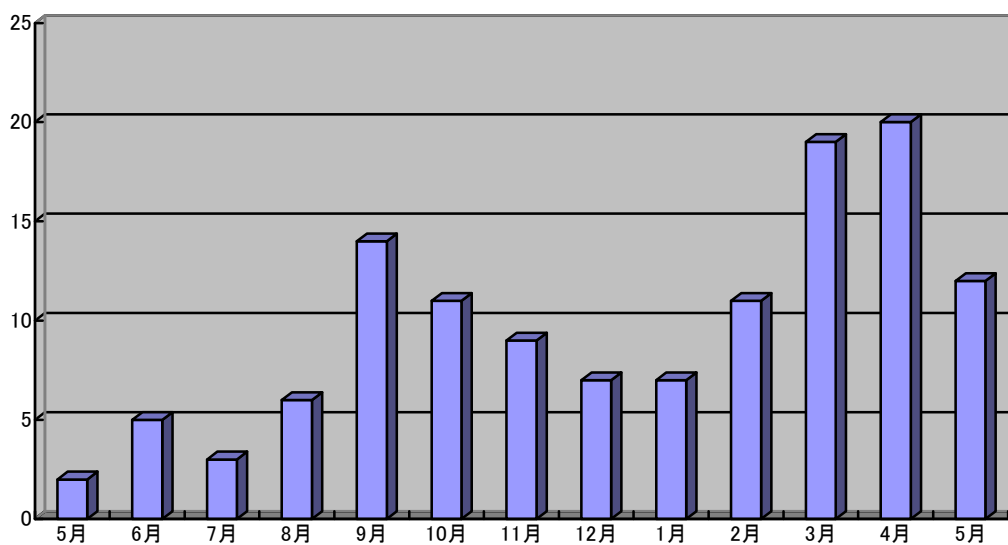
1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況	5
1.3.	フィッシングサイトのホスト国	6
1.4.	フィッシングメールの動向	6
1.5.	フィッシングサイトの動向	7
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	7
1.7.	その他の動向	7
1.8.	総括	7

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

- ・ フィッシング情報の届出件数： 12 件

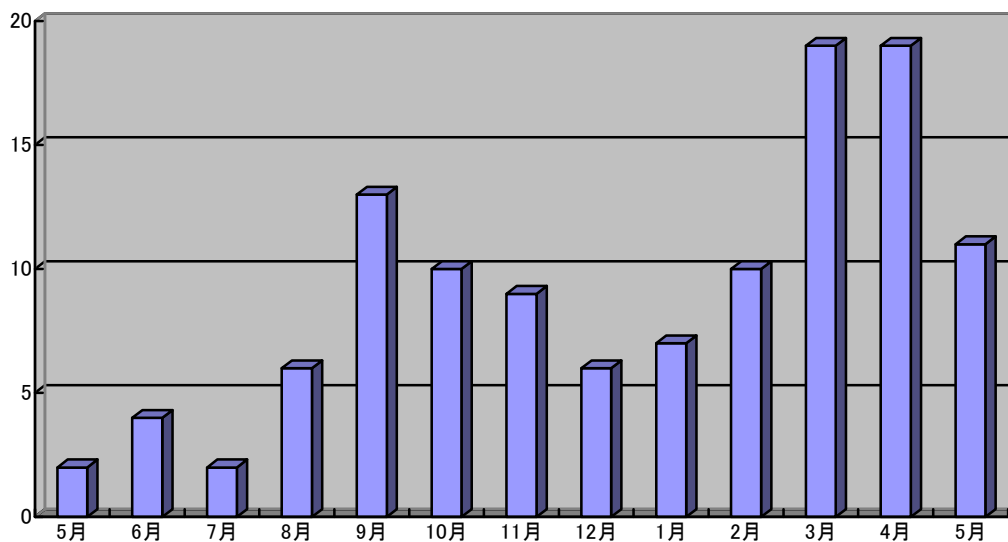
2007年5月度に報告されたフィッシング情報は、前月度よりも8件減少して12件となりました。



フィッシング情報の届出件数(2006年5月～2007年5月)

・ フィッシングメールの件数： 11 件

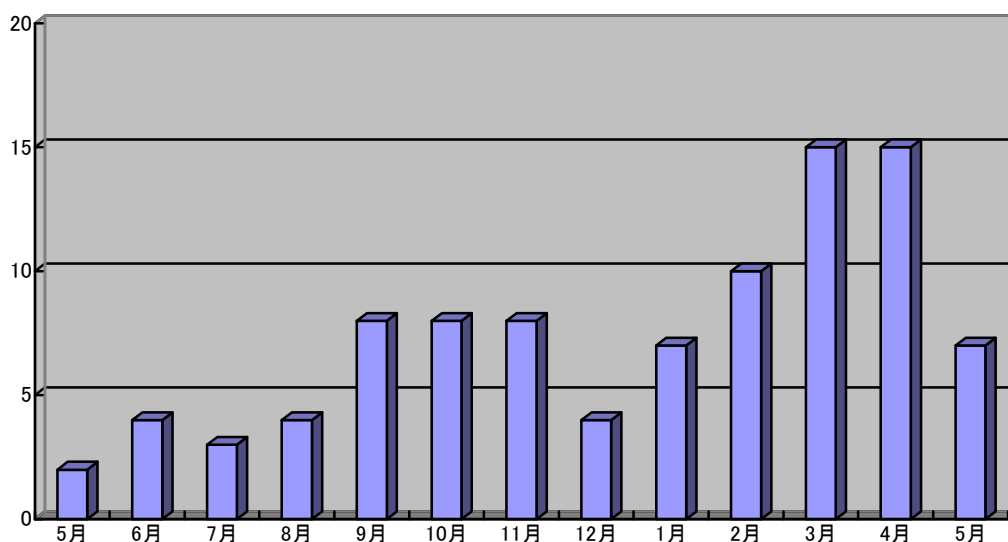
2007 年 5 月度に報告されたフィッシングメールは、前月度よりも 8 件減少して 11 件となりました。



フィッシングメールの件数(2006年5月～2007年5月)

・ フィッシングサイトの件数： 7 件

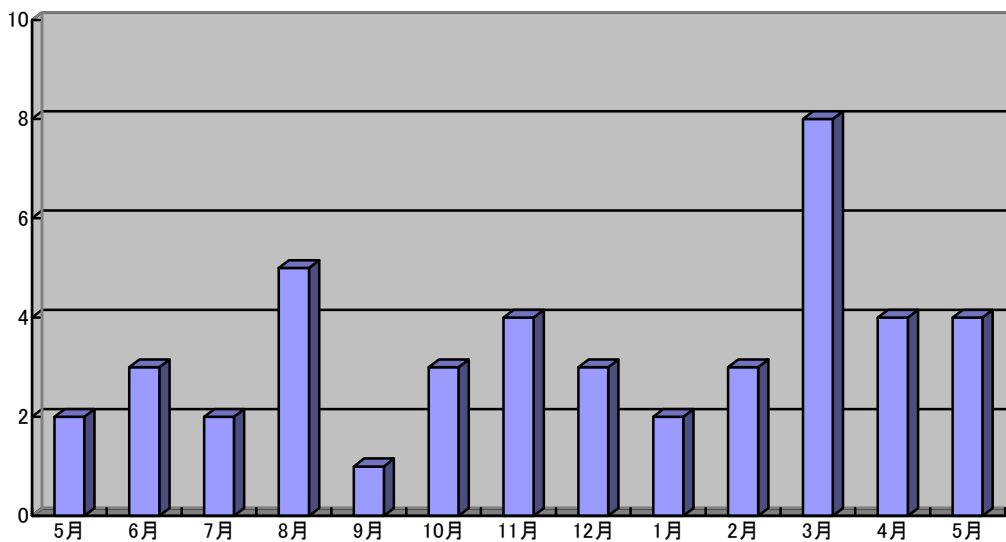
2007 年 5 月度に報告されたフィッシングサイトは、過去最多だった前月度よりも 8 件減少して 7 件となりました。



フィッシングサイトの件数(2006年5月～2007年5月)

- ・ フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 4 件

2007 年 5 月度にブランド名を悪用された企業の件数は、前月度と同じ 4 件でした。

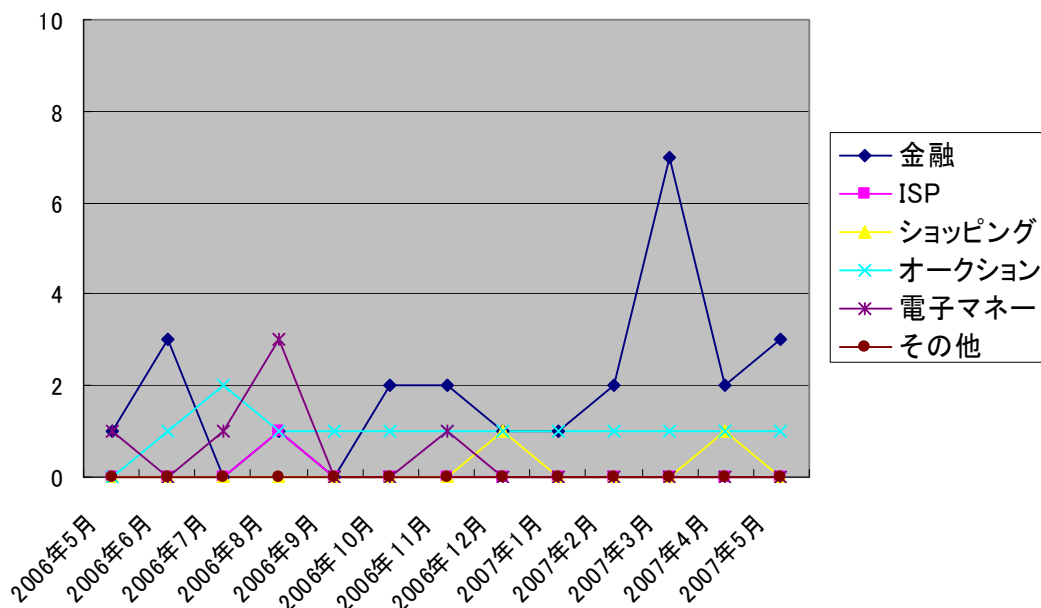


フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数(2006年5月～2007年5月)

- ・ もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： アメリカ (5 件)

1.2. 業種別の状況

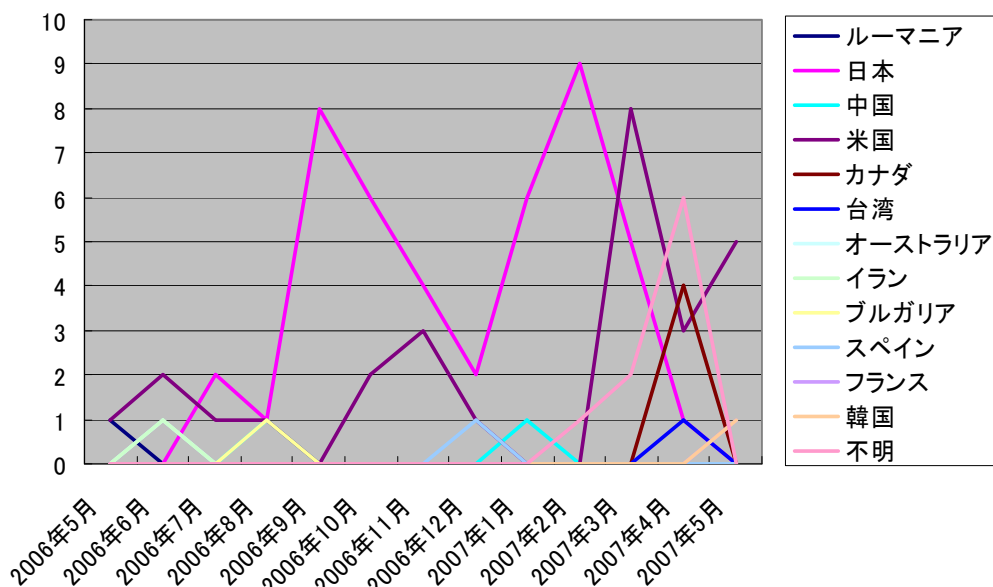
2007年5月度に標的となった業種は、金融3件、ショッピングサイト、オークションサイトそれぞれ1件でした。



業種別の状況(2006年5月～2007年5月)

1.3. フィッシングサイトのホスト国

2007年5月度に報告されたフィッシングサイトは、アメリカで5件、フランス、韓国でそれぞれ1件ホスティングされていました。



フィッシングサイトのホスト国(2006年5月～2007年5月)

1.4. フィッシングメールの動向

5月度に報告されたフィッシングメールは計11件で、内訳は「Yahoo! Japan」をかたる日本語メールが6件、同じく日本語のキャッシング融資メールが2件、そして「PayPal」、「Barclays Bank」をかたる英語メールがそれぞれ2件、1件でした。

「Yahoo! Japan」のフィッシングメールは、前月度は報告数0でしたが、再び多くの報告が寄せられました。メールの本文はこれまで報告のあったものと同じものが使われており、Yahoo! JAPAN ID ユーザーアカウント更新手続きを促して偽サイトに誘導しようとするものでした。

一方、キャッシング詐欺メールは18件から2件と大幅に減りました。こちらもメールの形式はこれまで報告されているものとほとんど変化ありませんでした。

「PayPal」のケースでは、yahoo.comのリダイレクタを使ってフィッシングサイトに誘導する手口が使われていました。メールはHTML形式で作成されており、見た目はpaypal.comのURLが書かれていますが、リンクをクリックすると実際にはYahoo!を経由して偽サイトに誘導されるようになっていました。リンク先のURLは、「http://rds.yahoo.com/ (略) /**http:// (リダ

イレクト先のアドレス)」となっており、これは、URL を長くすることによって偽サイトの URL が表示されないようにすることが狙いと思われれます。

1.5. フィッシングサイトの動向

5 月度に報告されたフィッシングサイトは計 7 件で、内訳は「Yahoo! Japan」をかたるサイトが 2 件、キャッシング融資サイトが 2 件、「PayPal」、「Barclays Bank」をかたるサイトがそれぞれ 2 件、1 件でした。

「Yahoo! Japan」をかたるサイトはこれまで報告されているものと同じく Yahoo! JAPAN ID、パスワードやクレジットカード番号を盗み取るものでした。以前と異なるところは、これまでのものはすべて国内のレンタルサーバ上に設置されていましたが、今回の 2 サイトは国外のサーバでホスティングされていました。

キャッシング融資サイトのコンテンツは、以前報告されたものと同じものが使われていました。いずれも、住所、氏名、電話番号、生年月日などの個人情報を盗み出すことが目的と思われ、「カードローン申し込み」や「融資限度額の診断」などとして情報の入力を促します。サイトの URL は、どちらも「.info」ドメインによるもので、米国のサーバでホスティングされていました。1 つは実在する金融機関の名前をかたったもので、その金融機関のサイトに似せて作られていました。残りの 1 つはオリジナルであると見られます。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

5 月度のフィッシング情報届出数は、先月度の 20 件から 8 件減少して計 12 件でした。これは主に、先月度 18 件だったキャッシング融資メール、サイトに関する報告が、2 件に減少したことが原因です。その一方、先月度は 0 件だった Yahoo!に関するものは再び増加し、今月度は 7

件の報告がありました。報告数は7件でしたが報告されたフィッシングサイトは2件で、同一のサイトについて複数の報告がありました。このように一つのフィッシングサイトに対して寄せられる報告数は最近増えてきており、これは、大量のフィッシングメールが出回ったことによる影響も考えられますが、同時に利用者のフィッシングに対する意識が高まってきているためとも考えられます。

また、日本語を使ったフィッシングに関する報告の割合は依然多く、12件中9件が日本語のフィッシングサイト、メールに関するものでした。また、残り3件中2件のPayPalの報告は、英語のフィッシングサイト、メールについてでしたが、PayPalは国内の利用者も多いため、日本語によるものと同様、国内の利用者に対する影響度は高いものです。